



第32回 美浜町民レガッタ

10月19日と20日に、第32回美浜町民レガッタが県立久天子湖漕艇場で開催され、全11種目に238クルーが参加しました。

湖上では、優勝を目指してゴールへ直線に進むクルーや蛇行しながらも一生懸命ゴールを目指すクルー等、それぞれがレースを楽しんでいました。また、湖岸では応援テントで仲間とバーベキュー等を楽しむ姿が多くみられ、スポーツの秋・食欲の秋を満喫していました。大会結果は、次のとおりです。



ミックスの部
K BEAM みはま

優勝	K BEAM みはま	2'55"71
2位	佐柿スーパートライ	2'59"70
3位	新庄 米STARS	3'03"97
4位	日向燈台クラブ さざえ組	3'04"92
5位	久天子 日の出会	3'06"22
6位	日向燈台クラブ わかめ組	3'15"29

スーパーシニアの部
気山漕友会

優勝	気山漕友会	2'35"87
2位	パイレーツ	2'40"66
3位	ウィ・サーブ号	2'47"85
4位	園芸LABOの丘 3号	2'49"16
5位	TEAM KPT A	3'03"67
6位	スーパーシルバー号	3'18"46

シニアの部
うわの秋まつり

優勝	うわの秋まつり	2'43"40
2位	ダワーズ スーパーエース	2'43"87
3位	CityHunter"Ｔ"&魔術師手術中	2'45"06
4位	M-NEACE	2'51"47
5位	宮代シニア	2'58"92
6位	NEL QUEEN	3'08"03

ジェントルマンの部
ロッキー2

優勝	ロッキー2	2'19"79
2位	KP-Evolution	2'21"81
3位	KP-BOOST-8	2'22"57
4位	まきぐちJ	2'24"74
5位	強興突破	2'28"68
6位	佐田ネクサスSS	2'29"63

ガッツマンの部
SR2BK

優勝	SR2BK	2'21"65
2位	美浜電気 C	2'54"99
3位	早瀬 祭り男 B	3'00"62
4位	火消太郎	3'10"27
5位	若狭医療ノアの箱舟	3'21"54
6位	山栄丸	4'31"42

交流議会議員の部
美浜町議会「水晶浜」

優勝	美浜町議会「水晶浜」	2'49"25
2位	津幡町議会 源平	2'57"31
3位	大津市議会スポーツ議員団	3'03"05
4位	美浜町議会「三方五湖」	3'17"25
5位	おい町議会	3'21"71
6位	若狭町議会	3'28"86

交流男子の部
二俣島ボートクラブ

優勝	二俣島ボートクラブ	2'29"03
2位	高浜ボートクラブ	2'47"46
3位	Kazue	2'52"02
4位	Team とねマール	2'56"93
5位	OPERATORS	2'59"26
6位	大阪ジェット団	4'21"98

交流女子の部
チームうらんちゃん

優勝	チームうらんちゃん	4'10"71
2位	—	—
3位	—	—
4位	—	—
5位	—	—
6位	—	—

スーパーマダムの部
郷市MAX

優勝	郷市MAX	3'23"67
2位	—	—
3位	—	—
4位	—	—
5位	—	—
6位	—	—

マダムの部
につかぽっか国吉

優勝	につかぽっか国吉	3'00"35
2位	YGKMTM	3'39"18
3位	—	—
4位	—	—
5位	—	—
6位	—	—

レディーの部
SKE35☆

優勝	SKE35☆	3'04"66
2位	きいばす	3'16"06
3位	人魚姫(令和ver.)	3'40"52
4位	若狭医療 19	5'02"62
5位	—	—
6位	—	—





働く車展示・防火衣装着体験



みはま餅つぎ隊の餅つき・ふるまい



みはまナビフェス2019

～郷土から芽生えるチカラ つなげるチカラ～

Coro piacere による『パブリカ』合唱



美方高校吹奏楽部による演奏



保育園児によるダンス



川辺町職員による自治体PR

野菜の詰め放題



手回し発電おもちゃ体験



広陵町の靴下販売



星城中学校(愛知県)のPR発表



ヤギとのふれあいコーナー

産業部門

11月9日と10日に、みはまナビフェス2019 産業部門が町役場駐車場の特設会場で開催されました。会場では、町の農林水産業団体や商工観光団体等による販売や展示、体験等が行われました。また、ステージでは各種発表やイベント等が行われ、訪れた人たちはさまざまな催しを楽しんでいました。

◎グランプリ・1等賞等受賞者

部門	氏名	品名	部門	氏名	品名
グランプリ	武田 健男	グリーンレモン	果樹	角森 隆夫	栗
葉菜類	(株) 大野農園	キャベツ	加工品	(有) ニエカワ水産	アジのみりん干し
根菜類	(農) 新庄 わいわい楽舎	さつまいも(紅はるか)	ミニ野菜	川田 豊	ミニ大根(ころっ娘)
穀類	岩本 孝司	金時豆	野菜栽培プランター	高橋 和美	リーフレタス(ミックス)
米	森田 定雄	ハナエチゼン	花の寄せ植え	せせらぎ保育園	
	上野 禎知	コシヒカリ	おもしろ野菜特別賞	(株) 和	コリンキー
	奥村 善孝	あきさかり			

農林水産物品評会

11月9日に、農林水産物品評会表彰式が行われました。受賞者については、次のとおりです。(敬称略)



品評会表彰式

出品物の展示

文化部門

11月2日から4日にかけて、みはまナビフェス2019 文化部門がなびあすで開催されました。会場では、町民の皆さんによる作品展示や体験コーナー、バザー、芸能の祭典と題したステージ発表等が行われ、訪れた人たちは展示作品や発表等を鑑賞しながら、「文化の秋」を堪能していました。



MIHAMA よさこい乱 DE 舞



コミュニティルームの作品展示



美づき乃会



立礼茶道体験



eco 落語



スペシャル企画「ナナ・イロ」によるコンサート

サバ〜ソニック2019



骨太ロッカーズ



K'z Heaven

サバ〜ソニック2019は、みはまナビフェスを盛り上げることを目的に、美浜町出身の若者が中心となって企画されたイベントで、今年で3回目の開催となりました。当日は5グループが出演し、魅力的な歌声や勢いのある演奏、パフォーマンス等で観客を魅了していました。

読書感想文コンクール入賞者発表

11月3日に、なびあすで美浜町読書感想文コンクールの表彰式が行われました。
今回のコンクールには、1,077 作品の応募があり、次の方々が入賞されました。(敬称略)



↑ 壇上にて表彰された最優秀賞受賞者



↑ 最優秀賞受賞者を代表して朗読する木村 芽生さん(左:美浜中央小)、
橋本 瑞生さん(右:美浜中)



【最優秀賞】

部 門	学校名等	氏 名	題 名	図 書 名
1年生の部	美浜中央小学校	池田 心大	「ころ」ってすごいな	心ってどこにあるのでしょうか?
2年生の部	美浜西小学校	山脇 芽依	「ま女ののろいアメ」を読んで	魔女ののろいアメ
3年生の部	美浜東小学校	藤田 怜奈	かみさまにあいたいを読んで	かみさまにあいたい
4年生の部	美浜西小学校	永井 咲衣	月とおばあちゃんとわたし	お月見テンテン
5年生の部	美浜西小学校	山脇 慧悟	命を預かるということ	ぼくとニケ
6年生の部	美浜中央小学校	木村 芽生	言葉には人を変える力がある	僕は上手にしゃべれない
中学生の部	美浜中学校3年	橋本 瑞生	平和を願う気持ち	ある晴れた夏の朝
一般の部	美方高等学校3年	岡崎 睦	人との関わり方と自分の道	こんな夜更けにバナナかよ

【優秀賞】

1年生の部	北村 なお(美浜中央小学校)	5年生の部	藤田 涼央(美浜東小学校) 森下 乃愛(美浜東小学校)
2年生の部	竹長 花(美浜西小学校) 中谷 颯汰(美浜中央小学校)	6年生の部	武田 楓和(美浜西小学校) 藪ノ内 陽香(美浜中央小学校)
3年生の部	平岡 海恋(美浜西小学校)	中学生の部	田邊 那奈(美浜中学校3年) 中村 彩香(美浜中学校3年)
4年生の部	奥村 海斗(美浜西小学校) 小坂 碧依(美浜東小学校)	一般の部	高木 柊(敦賀高等学校1年) 白井 優美(敦賀工業高等学校2年)

【入選】

1年生の部	中村 綾那(美浜中央小学校) 樋口 虎之丞(美浜中央小学校) 伊藤 碧人(美浜東小学校)	4年生の部	猿橋 理琴(美浜西小学校) 山下 栞奈(美浜西小学校) 上登能 悠人(美浜中央小学校)	中学生の部	田辺 栞乃(美浜中学校1年) 吉田 ころ(美浜中学校1年) 岩本 結愛(美浜中学校2年)
2年生の部	上登能 海琉(美浜中央小学校) 桃井 眞(美浜東小学校) 山口 美羽(美浜東小学校)	5年生の部	高橋 はるか(美浜西小学校) 武田 佳乃(美浜西小学校) 岸本 沙也加(美浜中央小学校)	一般の部	久保 虹葉(敦賀高等学校2年) 石田 達大(敦賀高等学校3年) 大道 彪世(美方高等学校3年)
3年生の部	久保 沙恵(美浜西小学校) 山本 悠人(美浜中央小学校)	6年生の部	浅妻 優菜(美浜西小学校) 山口 奈菜(美浜西小学校) 北条 大稀(美浜東小学校)		

令和元年度美浜町町政功労表彰

11月3日に、長年にわたり町政の発展に貢献された方々の功績に対し、感謝と敬意を表する町政功労表彰式がなびあすで行われ、今年度は次の4人の方が表彰されました。



「自治功労」

山口 治太郎 氏(気山) 前列右から2人目

● 美浜町長 平成11年3月7日～平成31年3月6日(20年)

「文化功労」

納谷 力氏(丹生) 前列中央

● 美浜町選挙管理委員会 補充員

平成11年7月3日～平成23年7月2日(12年)

● 美浜町選挙管理委員会 委員

平成23年7月3日～平成27年7月2日(4年)

● 美浜町選挙管理委員会 委員長

平成27年7月3日～令和元年7月2日(4年)

「社会福祉功労」

今村 正憲 氏(大藪) 前列左から2人目

● 美浜町史編纂準備委員会 委員

平成9年4月1日～平成10年3月31日(1年)

● 美浜町誌編纂委員会 委員

平成10年4月1日～平成12年3月31日(2年)

● 美浜町誌編纂委員会 副委員長

平成12年4月1日～平成23年3月31日(11年)

● 美浜文化叢書刊行会 会長

平成18年4月1日～平成28年3月31日(10年)

「社会福祉功労」

岡崎 節子 氏(佐柿) 前列左から1人目

● 美浜町民生委員・児童委員

平成13年12月1日～現在(17年11月)

【JR 美浜駅前にオープン予定】

道の駅の『愛称』を募集！！



町では、2022年春のオープンを目指してJR美浜駅前に整備を進めている「美浜町地域づくり拠点化施設(道の駅)」が、末永く愛され親しまれるよう愛称を募集します。

本施設には、飲食施設や農林水産物直売所、子育て交流スペース、イベント広場、遊具等を整備予定で、町内外の方々が気軽に立ち寄り買い物や交流ができる等、多世代の方が楽しめる新たなにぎわい創出の場を目指して整備を進めています。募集内容は次のとおりです。

■応募締め切り

令和元年 12 月 18 日 (水) 必着

■応募資格

どなたでも (年齢、性別、国籍問わず)

■応募規定

- ・応募作品は、自作で未発表のものに限る
- ・一人につき、何点でも応募可能

■応募方法

応募用紙又はA4サイズの白紙用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函もしくは持参、郵送、FAXまたは電子メールのいずれかにより応募してください。なお、電子メールで応募する場合は件名に「道の駅愛称応募」と明記してください。(右のQRコードからメールが送れます)

※応募用紙及び応募箱の設置場所

美浜町役場 1 階町民プラザ、なびあす総合案内、図書館、JR美浜駅待合室、各地区公民館 等

■結果発表

採用された方に直接通知します。また、町広報紙や町ホームページ等にて発表予定です。

■留意事項

- (1) 採用作品の著作権・商標権・その他一切の知的財産は、すべて美浜町に帰属するものとし、応募者は著作者人格権を行使しないものとします。
- (2) 応募者は、採用された愛称について商標登録をしないものとします。
- (3) 応募作品は、他の道の駅の愛称や著作権、商標権などを侵害していないものとします。
- (4) 同じ読み方の作品であっても、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号で表記が異なる場合には別作品とみなします。
- (5) 採用作品は、美浜町において加筆、修正する場合があります。
- (6) 応募にかかる費用は応募者が負担し、応募用紙の返却はしません。
- (7) 必要事項に不備や虚偽がある場合は、応募が無効となる場合があります。
- (8) 応募作品の中に、採用にふさわしい作品がない場合は、美浜町において愛称を作成します。
- (9) 個人情報については、美浜町の道の駅愛称募集に関する目的以外に、無断で使用することはありません。

※お問い合わせ先 町土木建築課にぎわい拠点整備室 (担当・山本)
☎ 32-6707 FAX 32-6050 E-mail: m-zukuri@town.fukui-mihama.lg.jp

集落別対話

地域“あいあい”ほっとミーティング 中間報告

人口減少が進む中で、住みやすい集落の維持・実現には、防災対策や空家対策、伝統文化の継承等さまざまな課題に取り組むことが必要です。

町は、人口減少対策として地域愛学習の推進や若者の定住促進、働く場の確保、交流人口の拡大等を進めていますが、住みやすい集落づくりの実現には各集落と行政との協働が不可欠です。

町では、今後の集落のあり方を町民の皆さんに考えていただく機会として「地域“あいあい”ほっとミーティング」を各集落で順次開催しています。



■ 集落別対話の実施状況 20 集落で実施 (11 月 15 日現在)

■ 各集落への提案

社会問題 **人口減少** **少子高齢化** **高齢世帯増加** **空家増加**

昨今の日本全体を取り巻く社会問題を背景に、町でもさまざまな課題が出てきている。

集落課題 **○役員のなり手不足** **○伝統文化の担い手不足** **○世代間の交流減少**
○空家対策 **○高齢世帯の防災対策** **○管理放棄地の増加 等**

集落ごとに、さまざまな年代が集まって将来を見据えた話し合いを行い、課題解決に向けて取り組む必要がある。

町からの提案 ■課題解決のため「集落元気プラン」としてとりまとめ

- ① 集落の課題解決に向けて区が取り組めること
- ② 取り組みを進めるうえで行政が担う役割

町では、若者から高齢者まで分け隔てなく意見を出し合うことで「住み続けたい」「戻ってきたい」と感じる集落のあり方が見えてくるものと考えており、各集落において「集落元気プラン」の作成につながる話し合いの機会を独自に設けていただくことも、併せて提案しています。

■ 対話での主なご意見等 ※頂いた多くのご意見の一部を掲載しています。

- 少子高齢化の影響で、集落活動や祭礼等の継続が難しくなっており、区役員への負担が大きい。
- 空家が増えており、所有者とのつながりも希薄化しているため管理や活用が難しい。
- 行事を1日に集約したり、それぞれの世代に役割を持たせ参加しやすい雰囲気づくりをしたりして、集落運営が円滑になるよう工夫している。
- 行事やイベント等に子どもが参加することは、子育て世代の参加だけでなく、高齢者を含めた3世代間の交流を促すことにもつながる。
- 災害発生時に、高齢者や要支援者も含めて円滑に避難できるよう防災意識を高める必要がある。

“地域愛”をPRするロゴマークを作りました！

ふるさとを思う心は、町民の皆さんと行政が共にまちづくりを進めるうえで不可欠なものです。

町では「美浜が好きで、町や地域、集落を良くしたい」という思い(地域愛)を、町民の皆さんに感じていただけるまちづくりを推進するため、新たなロゴマークを作成しました。

美浜を象徴するものとして **○おいしい食材をお箸とお椀で表現**
○美しい自然を山や水面で表現
○地元を愛する町民の気持ちをお椀に盛り付けて表現

町民の皆さんや次代を担う子どもたちに美浜町の良さを伝えるメッセージとして、また、美浜町を訪れる方に自然や食、人との触れあいを通して、町民の地域愛と美浜の居心地の良さを感じてもらいたいという願いを込めています。

